



フットフットマガジン9月号

ピックアップマッチ！

9月27日、WENSIRI対たま倶楽部

優勝の行方は…

北海道は秋も深まり、山間部では早くも初冠雪を記録する季節となった。この時期になると、体育館での体感気温も、最もプレーに適しているようで、各選手のフィジカルコンディションも良好に見える。

その最たる試合が、デイビジョン1の優勝決定戦となったWENSIRI1024対たま倶楽部の一戦。

27日の最終節までに、両チームが2勝で並び、引き分けなら得失点差でたま倶楽部が優勝となる。

試合は、3シーズンの初優勝を目指す、たま倶楽部が積極的に攻める展開。その流れから藤村選手と太田選手が連続してゴールを決め、前半2対0でたま倶楽部がリード。

迎えた後半。ハーフタイムでの修正が功を奏し、WENSIRIが始動1分に、佐藤選手が1点を返す。そこから一気に流れはWENSIRIに傾く。この試合のMIPに選ばれた木下選手が2ゴールを奪い、3対2と逆転に成功。守備でも集中を切らさずにそのまま優勝を決めた。

初優勝へのモチベーションから素晴らしい戦いを披露した、たま倶楽部も、最後は優勝経験の差に泣いた形となった。

11月大会からは、新規参入チームに加え、既存チーム間の移籍による大幅な入れ替えも噂される。

2008年シーズンも総合優勝に向けてますます盛り上がりを見せそうだ。

抜群の勝負強さでマッチMIPに選ばれたWENSIRIの木下さん



皆さまアミーゴの精神を忘れずに楽しんでプレーしましょう！